

令和元年（ワ）第10940号 損害賠償請求事件

原告 森次 茂廣

被告 株式会社 [REDACTED]

### 準備書面 1 1

令和3年10月7日

大阪地方裁判所第26民事部合議係 御中

被告訴訟代理人弁護士 [REDACTED]



#### 1 本件プログラム1について

- (1) 本件プログラム1を用いて業務を行うため新規ファイルを作成する際、次のような、当該新規ファイルのプロパティを入力設定する必要がある。

The screenshot shows a configuration window with the following fields and options:

- 現場名**: 無題
- レコーダー台数**: 2 (dropdown menu)
- レコーダー動作**:
- データ保存ピッチ**: 10 秒
- メール送信サーバー** (grouped in a dashed box):
  - SMTPサーバー名**: smtp.alpha-plt.jp
  - ポート番号**: 587
  - アカウント名**: manlock@krcnet.co.jp
  - パスワード**: [REDACTED]
  - 送信元メールアドレス**: manlock@krcnet.co.jp
  - 送信先メールアドレス**: [REDACTED]
  - テスト送信**: [button]
- プリンタ設定**:
  - 描画線幅**: 3 (line width for graph printing, range 1~20)
- 表示設定**:
  - グラフィックリフレッシュ間隔**: 60 秒 (refresh interval, range 60秒~3600秒)

Buttons at the bottom: **OK** and **キャンセル**.

このプロパティでは、現場名、当該現場で用いるレコーダーの台数等、警報メールの送信先である担当者メールアドレスを、任意に入力しなければならない。

現場名を任意に入力するという事、及び、当該現場で用いるレコーダーの台数等を任意に複数設定するという事は、複数の現場で使用されることが予定されていることを意味する。

また、警報メールを送信するメールアドレス先が任意に設定するという事は、本件プログラム1を管理する担当者は複数いることが予定されていることを意味する。

- (2) また、本件プログラム1では、個々のレコーダーにおいても、当該現場で求められる計測内容に応じて、レコーダー毎に、レコーダーの名称や表示する数値の桁等を、任意に設定できるようになっている。これは、複数の現場で使用されることが予定されていることを意味する。

	項目名	単位	桁数	色	最小値	最大値	下限値
▶ Ch. 1	ゲージ圧	MPa	##0.000		0	1	
Ch. 2	温度	℃	##0.0		0	50	
Ch. 3	O2濃度	vol%	##0.00		0	50	
Ch. 4	O2分圧	kPa	##0.0		0	200	
Ch. 6	CO2濃度	ppm	###0		0	10000	
Ch. 6	CO2分圧	kPa	##0.000		0	1	

- (3) 以上のことから、本件プログラム1を、複数の現場で利用することについて、

原告被告間で黙示の許諾があった。

## 2 本件プログラム2について

- (1) 本件プログラム2を用いて業務を行うため新規ファイルを作成する際、次のような、当該新規ファイルのプロパティを入力設定する必要がある。

ファイル(F) 編集(E) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

2017年02月  
2017年02月04日  
2017年2月4日

ID: 1 **新規作成**

工事名 テスト

作業年月日 2017年2月4日

第1回目 第2回目

使用ロック値

作業内容

	計画	実績(備考)
最大作業圧力	0.140 MPa	0.129 MPa
加圧速度	0.080 MPa/分	0.026 MPa
加圧開始時間(a)	19:13 時:分	19:13 時:分
減圧開始時間(b)	20:13 時:分	19:55 時:分
高圧下の時間	60 分	42 分
減圧時間	6 分	484 分
累計業務時間	66 分	526 分

使用する減圧表 1A(空気)-A(空気) 1A(空気)-A(空気)

このプロパティでは、工事名、作業内容を、任意に入力しなければならない。

工事名及び作業内容を任意に入力するという事は、本件プログラム2が複数の現場での使用が予定されていることを意味する。

- (2) また、本件プログラム2では、次のように、高圧室で業務に従事する作業者名、所属、工種、主任者を登録する。

## 高圧室内作業者

高圧:◎高圧室内作業主任者 副欠:○副欠危険作業主任者								
ID	作業者名	所属	職種	グループ	高圧	副欠	1日OPTD	1週OPTD
1	作業員A	X	施工管理	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
2	作業員B	X	施工管理	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
3	作業員C	Y	滑車	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
4	作業員D	Y	滑車	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
5	作業員E	Y	滑車	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
6	作業員F	Y	滑車	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

現場毎に従事する作業者は異なるのであり、高圧室で業務に従事する作業者名、所属、職種、主任者を登録するということは、本件プログラム2が複数の現場での使用が予定されていることを意味する。

- (3) 以上のことから、本件プログラム2を、複数の現場で利用することについて、原告被告間で黙示の許諾があった。

### 3 本件プログラム4について

本件プログラム4には、本件プログラム1及び本件プログラム2のような、プロパティ設定画面はないものの、次のように、警報を発令する平均風速の値を1次管理値（黄）及び2次管理値（赤）として任意に設定する必要があり、また回転灯を動作させるか否かを選択する仕様になっている。

1. 本件回転灯制御(風速・風向・温度)

2008年 9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

18:49:28

次測定時刻 2008/09/10 18:00:00  
2008/09/10 17:00:00

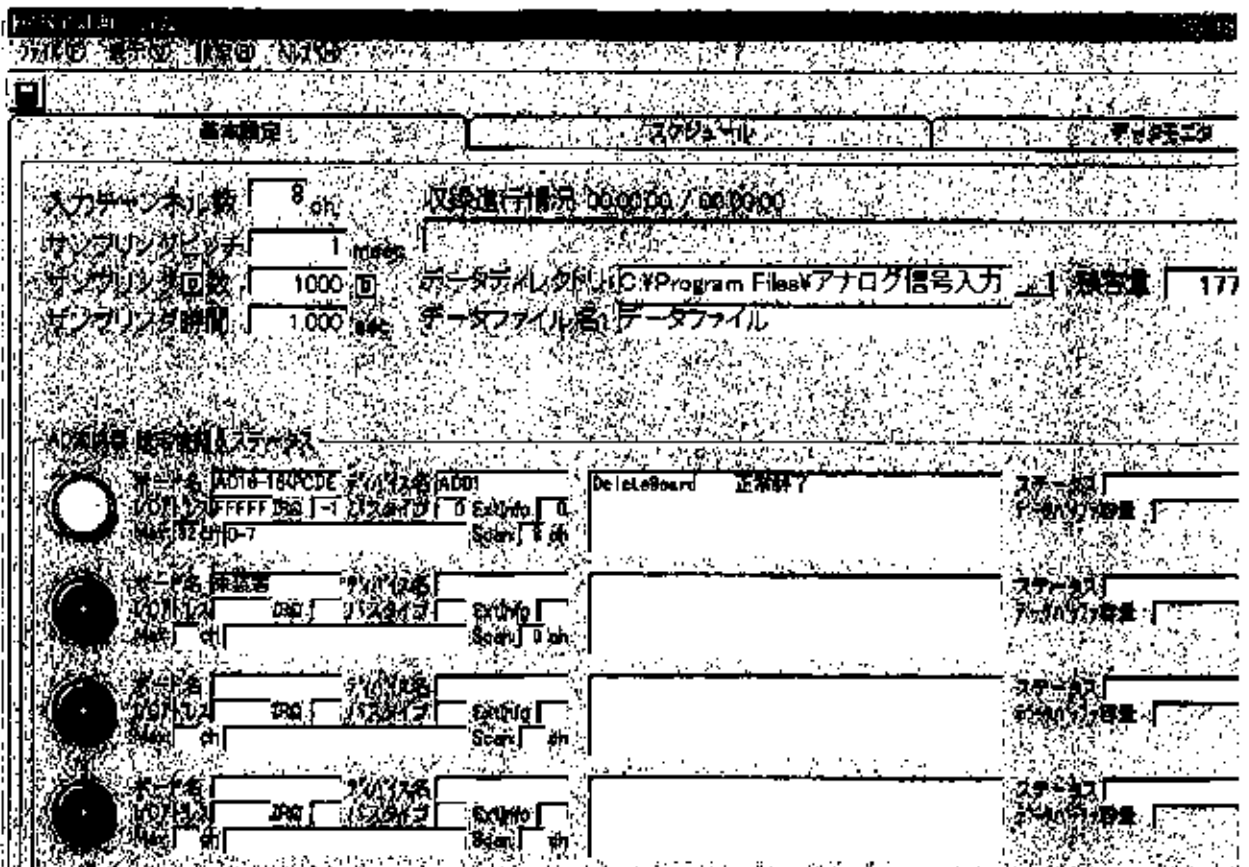
ステータス  
2008/09/10 18:48:21 - 警報発生  
2008/09/10 18:48:00 - 警報解除

リアルタイムデータ	設定データ	グラフ	警報
<input checked="" type="checkbox"/> 回転灯を動作させる			
平均風速(m/s)	<input type="text" value="1"/>		
2次管理値(赤)			
平均風速(m/s)	<input type="text" value="2"/>		
<input type="button" value="OK"/>			

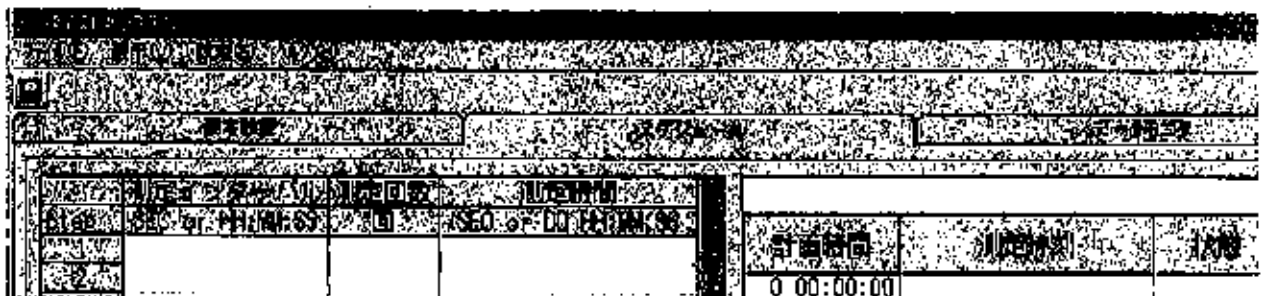
このように、現場毎の仕様に応じて、警報発令の値や回転灯動作の有無を設定するようになっているのだから、本件プログラム4を、複数の現場で利用することについて、原告被告間で黙示の許諾があった。

#### 4 本件プログラム5について

本件プログラム5には、本件プログラム1及び本件プログラム2のような、プロパティ設定画面はないものの、次のように、A/D変換ボードが最大4枚まで制御でき、入力チャンネル数・サンプリングピッチ・サンプリング回数・サンプリング時間・データ保存先・データファイル名を任意に設定する仕様になっている。



また、計測時間を任意に設定する仕様になっている。



このように、本件プログラム5は、現場の状況に応じて、A/D変換ボードや入力チャンネル数等が任意に設定するのだから、本件プログラム5を、複数の現場で利用することについて、原告被告間で黙示の許諾があった。

以 上